

新宿の隣の初台にある東京オペラシティコンサートホールは、1997年9月にオープンしたクラシック音楽専用コンサートホール。内装は全て天然木を用い、音響的に優れたシューボックス型を採用。客席数は1階～3階に1,632席を有し、高い天井は変形ピラミッド型で、ピラミッド状の音響反射板が天井に浮かび、演奏形態に良質な響きの得られる「大きな楽器」としての空間を提供しています。

細やかな表情を持つ壁面と変形ピラミッド形状の天井で構成されている当ホールは、大型パイプオルガンを備えたクラシック専用のコンサートホール。今回、舞台照明設備の更新が行われ、フルカラー制御機能を装備した調光操作卓と、主幹盤・調光器盤は筐体を流用し調光ユニットに交換して工期の短縮、コスト低減を実現。また、DC調光システムの採用により新規に信号線を敷かず、既設配線の流用でLED化を可能にしました。



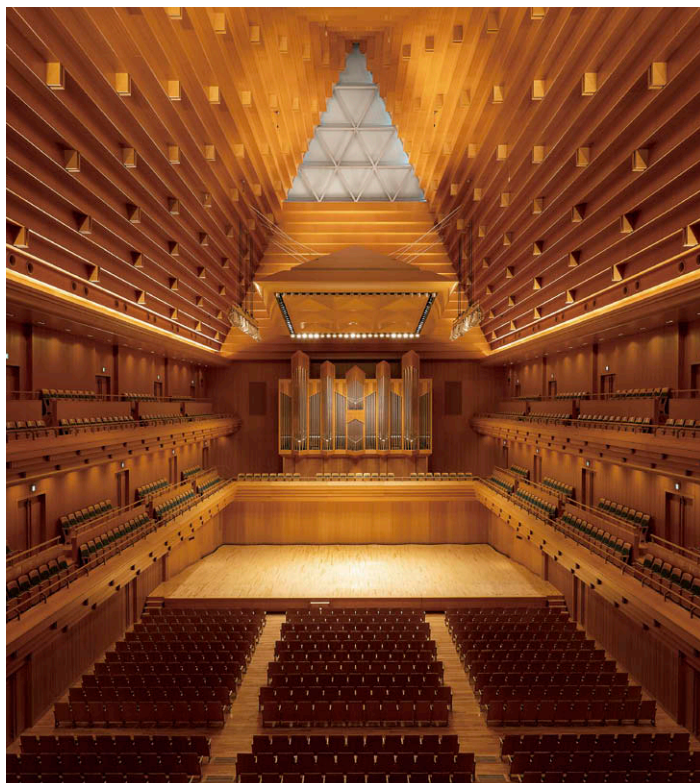
【物件概要】

所在地：東京都新宿区西新宿三丁目20番2号
 コンサートホール延床面積：ステージ/182㎡
 客席/幅20m×奥行41.4m
 管理運営：東京オペラシティビル㈱、
 財団法人東京オペラシティ文化財団
 舞台照明設備更新設計施工：東芝ライテック㈱
 舞台照明設備更新竣工：2021年4月

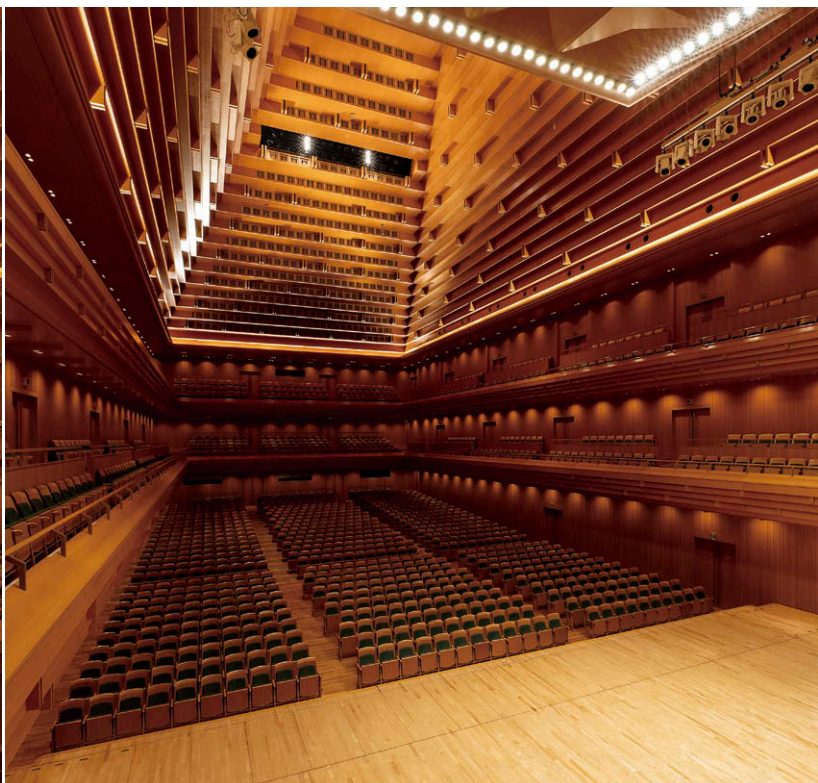
カラーミキシング機能搭載の調光操作卓“LICSTAR-V TypeS”に更新し、カラーLED器具に対応。

客席数1,632席を有するクラシック音楽専用のコンサートホールは、内装の全てに天然木を使用したシューボックス型ステージとし、オーケストラからリサイタルまで最高の音響空間を提供しています。今回の舞台照明設備の更新は、機能向上及び省スペース化を実現する調光操作卓“LICSTAR-V TypeS”を採用。フルカラー制御機能を備えた最新機種で、カラーLED器具にも対応できるカラーミキシング機能を搭載。主幹盤、調光器盤は筐体を流用し工期の短縮、コスト低減を実現していま

す。また演出用LEDシアターシリーズ電球システム専用直流調光器盤を新たに設置。客席1～3階の平土間の壁面近くには、新商品LEDシアターシリーズ電球システムフロスタイプを等間隔に配置。DC調光システムの採用により、新規に信号線を敷くことなく、既設配線を活かして省エネ性の高いLED化も可能とし、フェードイン・フェードアウトの操作も容易。さらに配光を工夫した特注器具により、各階の壁面に美しい光の陰影を演出しています。



観客席側からステージ側を望む。



ステージから1,632席ある観客席を望む。



(左)調光制御ラック (中)直流調光器盤⑦ (右)主幹盤・調光器盤⑥

主な掲載器具一覧					
設置場所	器具名 (品種名)	形名	台数	備考	
客席	① 軒下用ダウンライト	特注	246		
	② LEDシアターシリーズ電球システムDC LED電球 E26 (一般電球形フロスタイプ)	LDADC15LHE26/D-AL	246	消費電力:14.7W	
	③ 軒下用ダウンライト	特注	162		
	④ LEDシアターシリーズ電球システムDC LED電球 E17 (ミニクリプトン形フロスタイプ)	LDADC7LH-E17/D-AL	162	消費電力:6.5W	
1階～3階前室	軒下用ダウンライト	LEDC-21011B (W)	46		
	LEDシアターシリーズ電球システムDC LED電球 E11 (ハロゲン電球形)	LDRDCT7LWE11/D-AL2	46	消費電力:6.7W	
調光室	⑤ 調光操作卓	LICSTAR-V TypeS	1式		
調光器室	⑥ 調光器盤 (既設) 調光ユニット更新	—	1式		
	⑦ 直流調光器盤	TDCC-04-QD	1式		